

進み出した市街化編入

～東部工業団地と122号バイパス集客施設～

【何か手立てはないものか？^{わら}藁にもすがる思い！】



〔H29年度 企業立地トップセミナー(東京都内ホテルより)企業に説明の様子〕

平成29年4月18日付の第25回町長コラムで「群馬県の新たな工業団地選定区域に、明和町の東北自動車道（高速）の両脇が工業団地候補地域として選定されました」とお知らせいたしましたが、ようやく令和2年12月25日に東北道東側4.5haの市街化区域編入の告示があり、正式に工業団地としての認可が降りました。なんと編入までに3年かかった事

になります。実は当時、県土整備部の都市計画課は、過去に町が市街化区域編入の話を白紙に戻した経緯から、難色を示しておりました。そこへ突然神風が吹きました。企業を誘致する立場の県産業経済部では県内の工業団地が不足しているため、新たな候補地を探しているという情報です。当時の副町長は県知事より推薦いただいた元県職員の野本泰生氏でした。野本前副町長の人脈で、さっそく県産業経済部の塚越部長(当時)に働きかけ、新たな工業団地の候補地として明和町の東部地区の指定をいただいたというのが当時の町長コラムの内容です。

【長く険しい道のり】

この地域は、平成8年にそれ以前より続いていた長年の計画を白紙に戻した経緯がありました。当時の資料を見ると東部工業団地は、「特定保留」という手法で進められておりました。「特定保留」とは県と国の認可を先にいただいてから地元協議に入っていく手法です。この手法は「地元の協議ができたもの」として進めるため危険が伴います。結局、地元の理解が得られず平成8年に断念したわけでございます。県にしてみれば「地元は賛成ではなかったのか？」という疑問がわき、やがて町は信頼を失うことになるわけです。町に代わり国と協議する立場の県からすれば、国に対する説明責任が果たせない状態だったのではないのでしょうか。ですから恩田町長時代の平成25年から、県に対し新たに東部工業団地計画をお願いしておりましたが、ラチが開きませんでした。

【一筋の光】

私が町長に就任した翌年の平成28年に、前述の県下の工業団地が不足し、候補地を探して

いるという情報。当時の副町長が県とのパイプを持っているという事実。この細い糸に賭けるしかありません。私は県にお願いに上がるとともに、東京都内で毎年開催していた「企業立地トップセミナー」に県知事や県産業経済部長と一緒に、プレゼンターとして就任以来全て参加いたしました。この働きかけが功を奏し、県知事を始めとする県幹部と本当に近い関係ができ、後の色々な開発に繋がって行きました。



〔H29年度 企業立地トップセミナーにおいて大沢県知事(当時)と企業に説明する様子〕

【職員は大変な思い】

そして町の担当職員は本当に大変な思いをして職務にあたってくれました。何百人もの地権者の中には様々な事情を抱え、用地の交渉だけではありません。更に、県と国の交渉も同時に進めて行きます。特に農政協議は困難を極めました。県は町を代理して国との協議を行

いますが、そのため資料要求が多く、正に乾いた雑巾から水滴を絞^{しぼ}り出すように続きます。

町は地権者の言い分、県の言い分、国の言い分、全てに応える事が必要です。開発は県と国の専権事項です。町が勝手な事を言えば許可はおりません。そして、進出企業も町が決めて行くわけです。そんな困難な職務に尽力した職員を誇りに思います。



(H30年度 企業立地トップセミナーにおいて私がプレゼンターとなり企業に説明の様子)

【夢は実現する】

当町は、市街化区域である工業専用地域が西部地域に多く、東部地域にもつくらなければ、東部地域の活性化や人口増は見込めません。町は以前からマスタープランで東部地域を産業拠点として位置づけてきました。マスタープランに掲載することで、開発の第1ハードルをクリアしています。「東北道(高速) インターに最も近いこの地域を、どうしても発展させた

い」というのが私の夢でございました。



〔開発が予定されている東部工業団地（予定地）〕

【これから始まる活性化！】

年明けからは工業団地造成と企業誘致です。東北道東側には 45ha の工業団地、国道 122 号バイパス沿い西側 12ha には大型集客施設を誘致してまいります。

また、川俣駅南踏切は今の 2 倍に広がる予定で県が作業を進めております。ボトルネックになっているこの踏切を改良することが地域の方々の長年の悲願でした。川俣駅の橋上化の次のプランとして当時の大澤県知事にお願ひし、県土整備プランに載せていただきました。この県土整備プランにより、令和 5 年完成を目指して進んでいきます。川俣駅から南へ行く道路は大きく西に振れてから踏切になります。皆様、ご期待ください。



〔川俣駅南踏切西側住宅の取り壊された民家(道路の一部になります)〕

【駅前も着々と進めてまいります】

これに川俣駅東口側の医療複合施設と西口側の温泉、ビジネスホテル、商業施設が完成したら最高ですね!!

明和町の掲げる、「買い物が出来て、家族と食事が出来て、就職できる職場があり、子育てに優しく教育環境も、福祉も充実したオールインワンの町」そんな町を実現できるように全力で頑張っております。

【地権者の皆様へ感謝】

結びに、このような市街化編入が進められますのは地権者の皆様のご理解・ご協力があったことからです。地権者の皆様をはじめ、この市街化編入においてご支援・ご指導いただきましたすべての皆様に深甚なる感謝を申し上げます。皆様からの期待とご思いは、必ず町の発展に繋げてまいります。本当にありがとうございました。

令和3年1月19日

明和町長

富塚もとすけ